

石川工業高等専門学校 いじめ防止プログラム

I. 未然防止プログラム

未然防止の意識は普段の学校生活から、自然と確立することが望ましい。そのためには、普段からの教員と学生の会話、学生同士の会話、学生の行動を注視し、未然防止の雰囲気を作ることである。自然と確立するためには、要所での啓蒙活動が大切である。

1. 学校行事・特別活動

学校行事、特別活動は学生の人間的成長が多く見られるものであるが、その一方で、対人関係のトラブルが発生する場でもある。未然防止の観点から、特に年度当初に開催される総会や集会における啓蒙活動を行うとともに、「いじめ防止週間」を設定し、教職員、学生へのいじめ防止の周知を図る。また、学校行事や特別活動は未然防止だけでなく、いじめの早期発見に繋がる場である。球技大会や紀友祭、合宿研修などにおける活動はクラスやグループ単位で活動することが多く、友人関係やその他の行動に注目する。

○ 未然防止・早期発見に関わる学校行事・特別活動

学生総会(学生会)

新入寮生歓迎会

1年生合宿研修

寮生総会・寮生集会

学外研修、合宿研修、海外研修

球技大会(学生会)

紀友祭(学生会)

2. 学生会活動

学生会が企画する行事・活動は多い。行事での啓蒙活動は効果的ではあるが、学生が主体となる啓蒙活動は教員が行うよりも効果が期待できる面もある。学生会として、いじめ防止についての取組を年度当初の学生総会で紹介し、年間行事を通じて取り組んでいく。

3. 職員研修

年に2回、FD 研修会等はいじめ防止およびいじめの対応に関する研修会を実施する。また、状況に応じて研修会を実施する。

4. 学生研修

各学年で年に1回以上学生向けのいじめ防止に関する研修を実施する。

II. 早期発見・早期対応プログラム

早期発見・早期対応は、いかに学生の兆候を察知し、必要に応じた対応を整えるかが重要である。その際、1人の教員だけが抱え込むことなく、教員チームとして対応していくことが大切である。

1. いじめ防止等対策委員会

いじめ防止等対策委員会は学生支援委員会(学生主事・寮務主事・各科主事補佐・学年主任・学生課長)および学生相談室委員会(相談室長・各科委員・看護師)、顧問弁護士、顧問相談員からなる。必要に応じて外部カウンセラーも加わる。

- ・毎月定例会を開催し、各学科、学年における状況を確認する。
- ・いじめに繋がる兆候、いじめ事案が発生した場合は、対応方法を考え、対応チームを立ち上げて対応する。
- ・インターネット等の電子メディアを通じて行われるいじめへの対策及び特性を有したり配慮を有したりする学生へのいじめに対する対策の充実を含めた対応を行う。
- ・教職員はいじめを発見した場合には速やかにいじめ防止等対策委員会に報告し、同委員会は組織的に事実確認を行い、結果を高専機構に報告(事実確認後 24 時間以内)する。

2. 学生相談室

相談室長、各科委員、看護師、外部カウンセラーで構成し、学生、保護者等の相談に対応する。

(予約)

TEL: 076-288-8037(保健室)

E-mail: hoken@ishikawa-nct.ac.jp

HP: <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/soudan/>

◆ KOSEN 健康相談室

TEL: 0120-792-151

HP: <https://www.kosen-k.go.jp/student/kenkou>

3. 学年会・学科会議

○ 1、2 年学年会

- ・毎月定例会を開催し、各学科、学年における状況を確認する。
- ・いじめに繋がる兆候、いじめ事案が発生した場合は、学年会における対応を考え、学生主事、学生相談室に伝える。
- ・学生主事、学生相談室は報告があった時点での対応方法を確認し、対処する。必要に応じて、いじめ防止等対策委員会の召集、対応チームの立ち上げを行う。

○ 学科会議

- ・毎月定例会を開催し、3 年～5 年の各学科(クラス)における状況を確認する。
- ・いじめに繋がる兆候、いじめ事案が発生した場合は、学科における対応を考え、学生主事、学生相談室に伝える。
- ・学生主事、学生相談室は報告があった時点での対応方法を確認し、対処する。必要に応じて、いじめ防止等対策委員会の召集、対応チームの立ち上げを行う。

○ 低学年合同学科会議

年に4回以上、低学年(1、2 年)クラス担任が該当学科の会議に出席し、クラスの状況報告、情報交換を行う。ここでは、特に低学年の学生に関する情報共有を行うことで、授業等で接する機会の多い学科教員での対応

を確認する。

4. 調査

○ 学生アンケート

年に2回学生アンケートを実施する。形式を変えて、より回答しやすいアンケートとする。

○ 校長ヒアリング

校長および管理運営役職員(副校長、教務主事、学生主事、寮務主事)が各学科主任より、学科の学生の状況や対応についてヒアリングを行う。年2回実施する。

III. 保護者・地域

○ 保護者懇談会

夏休み前に実施する。各クラス担任が各学生保護者と1人ずつの面談を実施する。

○ 寮生保護者懇談会

1年生が寮生活に慣れ始めた5月に実施する。全寮生保護者を対象とし、寮の活動状況の説明の後、各学科単位の保護者および寮務委員の教員がグループ懇談を行う。

○ 地区別懇談会

9月～10月に本校、金沢地区、能登地区、小松地区と各地区に分散して保護者懇談会を実施する。学校の活動状況を説明の後、各学科単位の保護者および学科教員(2～4名程度)とグループ懇談を行う。

IV. PDCA

PDCAについて、いじめ対策防止委員会において執り行う。

4月に計画および目標を設定

9月に中間評価を行い、修正点があれば後期に向けて修正を行う。

翌年2月に年間評価を行い、その結果を元に3月に次年度の計画および目標について検討する。

石川工業高等専門学校 いじめ防止年間プログラム

	未然防止				早期発見・早期対応			保護者・地域	PDCA
	学校行事	特別活動	学生会主体啓発	職員研修	いじめ防止等対策委員会	学年会・学科会議	調査		
4	入学式 全校集会 学生総会 1年生合宿研修	1年生合宿研修 新入寮生歓迎会	学生総会 いじめ防止について の取組		定例	1、2年学年会・学科会議			計画・目標作成
5	春季球技大会 高校総体	寮生総会	球技大会		定例	1、2年学年会・学科会議	学生アンケート	寮生保護者懇談会	
6	前期中間試験			FD研修会	定例	1、2年学年会 低学年合同学科会議			
7	地区高専体育大会 社行会・文化部発表 会	寮生集会	社行会・文化部発表 会		定例	1、2年学年会・学科会議	学生アンケート	保護者懇談会	
8	全国高専体育大会								
9	コンテスト激励会 高専体育大会報告会 高校新人戦 前期末試験		コンテスト激励会 高専大会報告会		定例	1、2年学年会・学科会議	学生アンケート	地区別懇談会	中間評価と取組の改善
10	学外研修（2年） 合宿研修（3年） 海外研修（4年） プロコン 秋季球技大会 ロボコン地区大会	学外研修（2年） 合宿研修（3年） 海外研修（4年）	球技大会		定例	1、2年学年会 低学年合同学科会議	校長ヒアリング	地区別懇談会	
11	紀友祭 英語ブレコン地区大 会 ロボコン全国大会 後期中間試験		紀友祭		定例	1、2年学年会・学科会議			
12	デザコン全国大会					1、2年学年会 低学年合同学科会議	校長ヒアリング		
1	英語ブレコン全国大 会				定例	1、2年学年会・学科会議	学生アンケート		
2	学年末試験	講演会			定例	1、2年学年会 低学年合同学科会議			年間評価
3	卒業式			FD研修会	定例	1、2年学年会・学科会議			次年度計画